



KAKKIN熊本

核兵器廃絶・平和建設熊本県民会議

(代表者) 梶田 秀治
(編集者) 渡邊 一寿

特定放射性廃棄物の最終処分事業に関する勉強会を開催！

核兵器廃絶・平和建設熊本県民会議（KAKKIN 熊本）は2022年3月28日（月）に「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」と題して、特定放射性廃棄物の最終処分事業に関する勉強会を開催しました。

本勉強会は、原子力発電所で使い終わった燃料を再処理する過程で発生する高レベル放射性廃棄物等を地層処分する事業の実施主体である原子力発電環境整備機構（NUMO）が展開している学習支援事業を活用して実施したものです。



熊本県労働者福祉会館
参加者：17名



勉強会は、NUMO地域交流部の岩崎部長（左写真）より高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する事業の概要や進捗状況などについて説明を受けました。日本においては、現在、北海道の寿都町と神恵内村にて「文献調査」を開始している状況であり、この「地層処分」について、社会全体の課題として関心を持って理解を深めていくとともに、今後も引き続き、KAKKIN 熊本としても取組みを進めていきたいと考えています。

KAKKIN とは

KAKKINは、1961年11月15日に「いかなる国のいかなる理由による核兵器も許さない」という立場に立つ学者・文化人・民間団体・婦人団体・労働組合等が結集し、「再び核兵器が使用されることのない平和な世界の建設」をめざし結成され、人類の繁栄と世界平和の建設を目指して活動しています。

KAKKIN の活動の柱

- ①「核兵器廃絶」
- ②「被爆者支援」
- ③「原子力平和利用推進」

KAKKIN 熊本の活動計画

- ①核兵器廃絶への取り組み（平和集会への参加）
- ②KAKKIN カンパの展開（核兵器廃絶・平和建設カンパ活動）
- ③健全なエネルギー政策の確立に向けて
- ④構成する組織の発展のための会員相互間の交流活動

高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会 説明資料

はじめに

私たちは過去50年以上にわたって原子力発電を利用してきており、それに伴い発生する「高レベル放射性廃棄物」は、**人々の生活環境に影響を与えないよう、地層処分**（地下深くの安定した岩盤に埋設）という方法で最終処分する方針です。

そのためには、全国の皆さまに、**社会全体の課題**として関心をもって理解を深めていただくとともに、処分地選定プロセスや、処分事業が地域に及ぼす影響、安全確保に向けた取組、さらには受入地域に対する敬意や感謝の念が広く **全国の皆様に共有**されることが重要です。

本日の説明会は、こうした考えから、**地層処分について理解を深めていただく**ことを目的として、開催するものです。

説明会開催地域や自治体の皆様に、**調査や処分場の受入れの判断を求めるために実施するものではありません。**

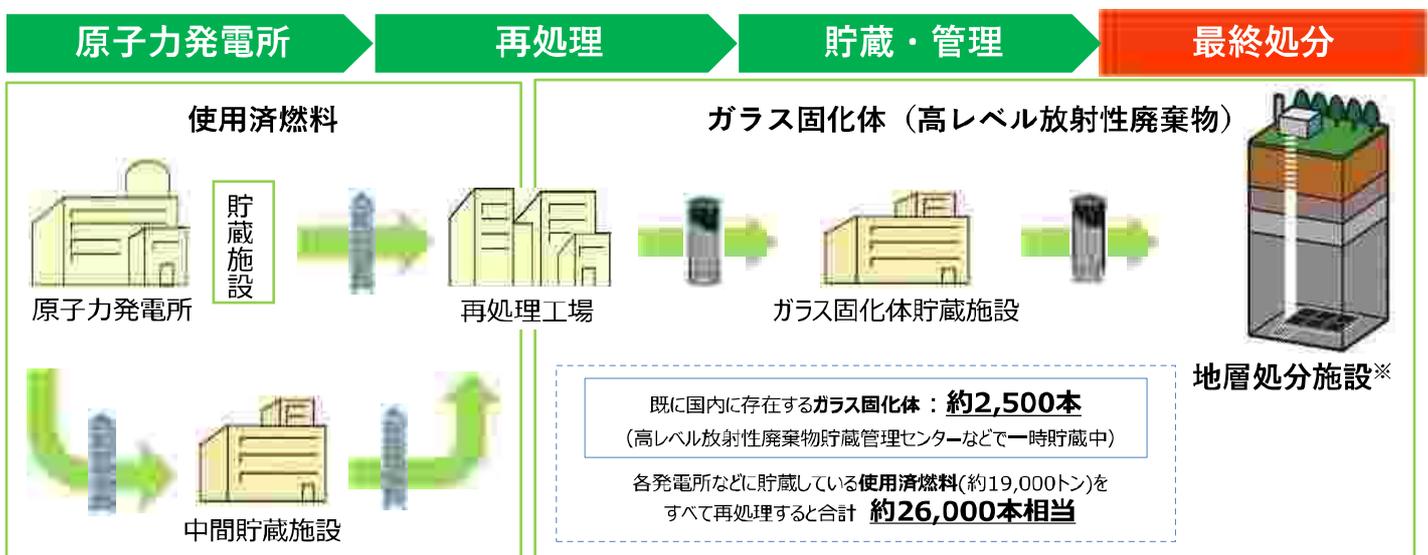
2022年1月



1

高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）の発生

- 原子力発電により発生した使用済燃料は、再処理工場で再利用できるウランとプルトニウムを回収し、**残った廃液をガラスに溶かし込んでガラス固化体**にします。
- この**ガラス固化体**を、「高レベル放射性廃棄物」といいます。
- 日本では、既に**ガラス固化体換算で約26,000本相当**存在しています。

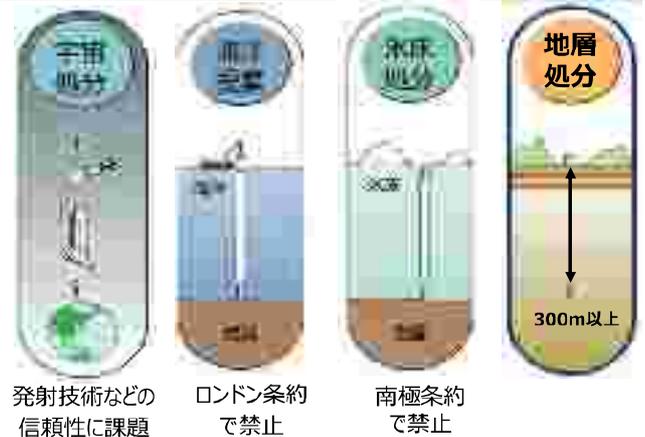


※日本原子力研究開発機構（JAEA）の研究施設から発生したガラス固化体、及び上記の再処理の際に発生するTRU廃棄物のうち放射能レベルが一定以上のもの（地層処分対象TRU廃棄物）も、同様に地層処分の対象となります。

3

最終処分の必要性

- 地上で保管し続ける場合、自然災害（地震等）や人間の行為（戦争等）の影響を受けるリスクなど、将来世代の管理負担が生じます。
- ガラス固化体の放射能の低減までの数万年以上にわたり、将来世代に地上での保管の負担を負わせ続けることは、現実的ではありません。原子力を含む電気を多く使ってきた現世代で、「最終処分」への道筋をつけるべく取り組んでいくことが重要です。
- 最終処分の方法としてさまざまな方法が検討されてきましたが、宇宙処分は技術の信頼性に課題があり、海洋底や氷床での処分は国際条約で禁止されています。
- 地層処分は、国際社会から現時点で最も安全で実現可能な処分方法とされています。



処分地選定プロセス

- 最終処分法では、概要調査（ボーリング調査）、精密調査（地下施設における調査）を経て、最終処分地を選定する方針です。
- 概要調査を実施するかどうかの検討材料（地域の地質に関する資料やデータ）を提供するため、あらかじめ文献調査を実施します。調査期間中は、市町村でこの事業について議論を深めていただく、いわば対話活動の一環です。
- 市町村が概要調査以降に進もうとする場合には、改めて都道府県知事と市町村長のご意見を聴き、これを十分尊重することとしており、当該都道府県知事又は市町村長のご意見に反して、先へ進みません。



日本における「文献調査」の動向

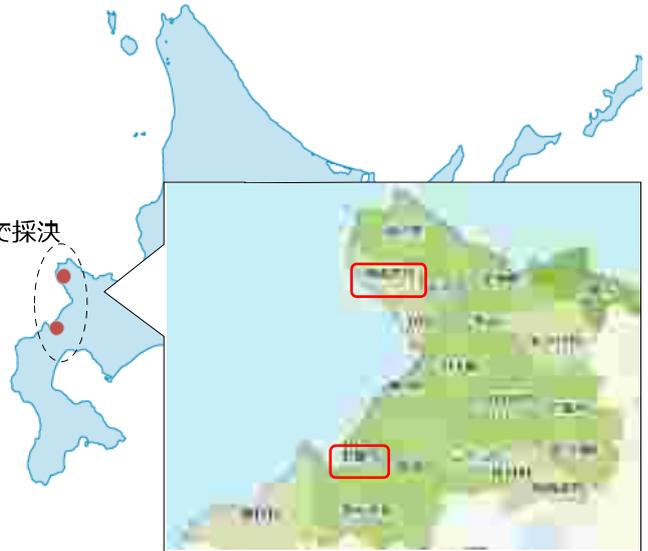
- 2020年11月17日、北海道の寿都町と神恵内村で、**文献調査を開始**しました。また、2021年4月から、両町村で「**対話の場**」を開催しています。
- 引き続き、**全国のできるだけ多くの地域で**、最終処分事業に関心を持っていただき、文献調査を受け入れていただけるよう、取り組んでまいります。

(1) 北海道 寿都町 (すつちよう)

- 2020年 8/13 文献調査検討の表面化
 9/7 寿都町主催で住民説明会 (～9/29)
 9/29 住民説明会 (国説明)
 9/30 町議会への説明会 (国説明)
 10/5 町長、地元産業界との意見交換 (国説明)
 10/8 町議会全員協議会 (意見聴取)
 10/9 町長が文献調査応募
 11/17 経産省がNUMOの事業計画変更を認可
- 2021年 3/8 概要調査・精密調査移行時の住民投票条例が町議会で採決
 4/14 「対話の場」の立ち上げ (12月までに5回開催)

(2) 北海道神恵内村 (かもえないむら)

- 2020年 9/11 商工会での検討状況が表面化
 9/15 村議会開会 (誘致請願を常任委員会に付託)
 9/26 国・NUMO主催で住民説明会開始 (～9/30)
 10/2 常任委員会で誘致請願を採択
 10/8 村議会臨時会で誘致請願を採択
 10/9 国から申し入れ、村長が受諾
 11/17 経産省がNUMOの事業計画変更を認可
- 2021年 4/15 「対話の場」の立ち上げ (12月までに5回開催)



地域における「対話の場」の役割

- 適切な情報提供のもとで、住民の皆さまの間で継続的な対話が行われ、議論を深めていただくことが重要と考えています。
- このため、文献調査の実施に際しては、「**対話の場**」を設置します。「対話の場」において出された委員の意見を受けて、様々な取組を実施し、地域をサポートします。

<「対話の場」の運営イメージ>

- 第三者のファシリテーターを配置し、賛否に偏らない議論を行う。
- 立場を超えた自由な議論と透明性の確保を両立。
- 委員以外の一般住民が様々な形で参加できる機会を積極的に設ける。

<検討テーマのイメージ>

処分事業関係

- 処分事業の概要
- 安全確保の考え方
- 文献調査の経過報告
- 関連施設への視察 等

+

地域の発展ビジョン関係

- 将来のまちづくりに関する議論
- 経済社会影響調査の実施
- プラス影響促進策の提案
- マイナス影響への懸念への対応方針の議論 等

※海外事例や国内類似例等を参考としつつ、有識者からの意見も踏まえながら議論。

設置者：市町村 + NUMO

ファシリテーター

地元市町村議会議員

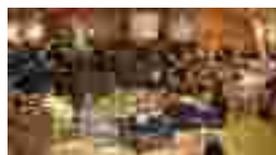
地元団体代表者

地元住民代表者

… +

都道府県・周辺市町村 等

<諸外国における対話活動の例>



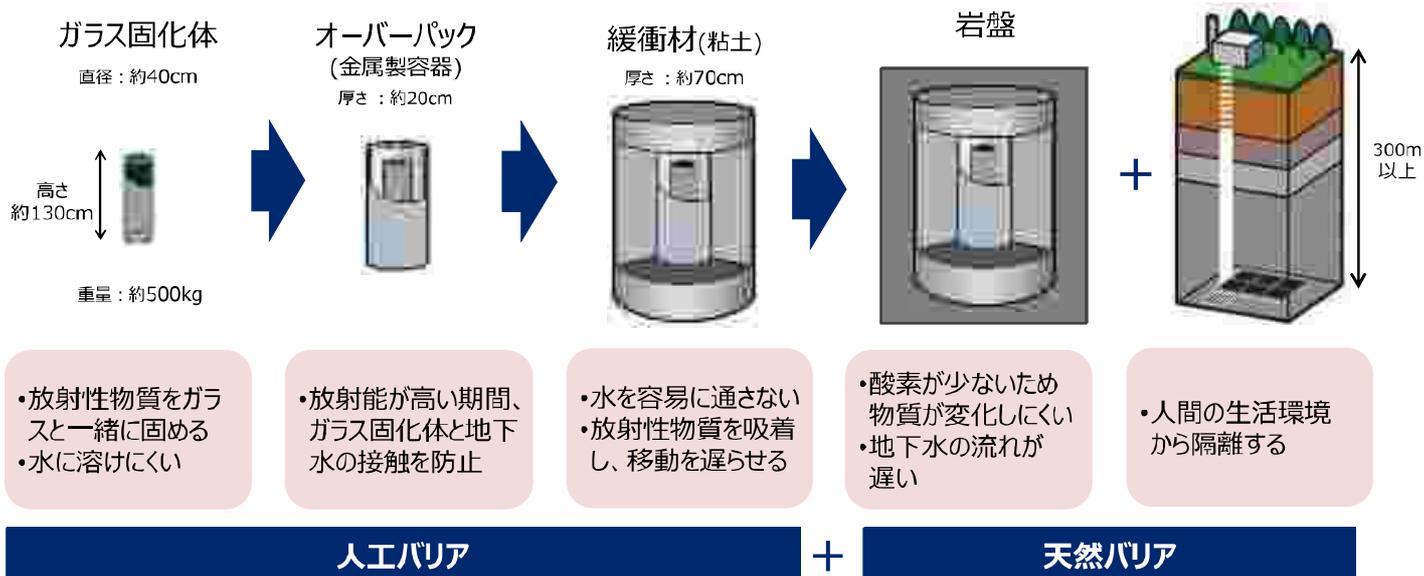
スウェーデン [写真提供] エストハンマル自治体



カナダ [出典] イグナス地域連絡委員会HP引用

地層処分の仕組み

- 地下深部では、**酸素が少ないため物質が変化しにくく、地下水の流れが遅くなる**ため、生物の化石が数千万年以上前の形状を保ったまま、確認されることもあります。
- 地層処分では、地下深部の天然バリアに、人工バリアを組み合わせることで、**人間の生活環境へ影響がないように、ガラス固化体を隔離し閉じ込めます。**



12

地層処分について「より深く知りたい」という場合には

- 処分事業について関心を持っていただける場合には、**一般の方でも、自治体の方でも、どなたでも、国やNUMOから、より詳しい情報をご説明させていただく機会**を設けます。
- 地域の地質環境、地域経済への社会的影響、インフラ整備のイメージをお示したり、関連施設の見学にご案内したり、**皆さまの関心やニーズに応じて、柔軟に対応**します。



施設見学会の様子



勉強会の様子



団体間の交流会の様子

団体などによる学習の機会を、NUMOが支援します。詳しくは、以下までお問い合わせください。

(問い合わせ先)
NUMO 広報部・地域交流部
TEL：03-6371-4003
(平日10:00~17:00)

- 勉強会への専門家派遣・施設見学について
(情報提供・学習支援)



<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/shienjigyo/>

27